



インスピレーションになろう

ガバナー月信

2019年5月号 Vol.11



Contents

第7分区IM	1	ロータリーショーケース 2560	14
高田東RC50周年記念式典	2	新入会員紹介・訃報・今後の予定	18
大谷年度クラブ会長エレクト研修セミナー(PETS)	4	出席報告	19
ロータリー財団地区奨学生選考面接会	6	コーディネーターニュース	20
来日学生関西研修旅行	7	ハイライトよねやま	21
米山カウンセラー研修会	9	ロータリー文庫通信	23
インターアクト海外研修	11		

第7分区IM

開催テーマ 「我がクラブの姉妹・友好クラブ」

第7分区ガバナー補佐
宮下 壽幸（高田東RC）



心地よい春の陽射しを浴びながら、去る平成31年4月14日（日）まさに春爛漫の上越市で開催されました。高田公園は、上野公園、弘前公園にならぶ日本三大夜桜です。その美しさは「日本夜景遺産」にも登録されており ライトを浴びて輝く高田城三重櫓と桜、ぼんぼりの灯りがお堀に映し出す神秘的な様子は絶景です。桜が散ってしまわないか心配でしたが、この日を待っていてくれたように満開でした。スタッフの気持ちが桜に通じたのでしょ

うね。
IMは、9月に開催するのが通常ですが、所属する高田東ロータリークラブが創立50周年の節目の年と重なったことから海外からのお客様が楽しみにしておられるこの時期とさせていただきます。当日は、国際ロータリー第2560地区から、新保清久 副ガバナー、そして台湾から高田東ロータリークラブの姉妹クラブで「板橋（パンチャオ トンチュイ）東區扶輪社」、マレーシアからは、「バンダーウタマ ロータリークラブ」と「ウタラスバンジャヤ ロータリークラブ」、国内からは友好クラブの群馬県「館林東ロータリークラブ」の皆様をはじめ、第七分区の各クラブからも多くの皆様にご臨席を賜り、国際色豊かなIMになりましたことに厚く御礼を申し上げます。

開催テーマが「我がクラブの姉妹・友好クラブ」ということで、第一部では、高田東ロータリークラブの国際交流のリーダーとして活動している小坂靖至会員から両クラブとのこれまでの交流活動の経緯等についてのお話から、海外姉妹クラブを通じた国際交流の意義や楽しさを少しでも感じ取って頂けたかと思えます。

第二部では、姉妹クラブ、友好クラブ共に双方の周年記念ごとに行っている更新調印式を皆様立会いのもとで行いました。高田東ロータリークラブとしても初めての試みでしたが、皆様の新たな国際交流活動の契機となれば幸いです。

第三部は、創立50周年式典、第四部では記念祝賀会と長丁場ではありましたが、ロータリアンの皆さんにとって有意義で思い出に残るIMになりましたことを祈念しまして報告とさせていただきます。



■高田東RC 50周年記念式典

高田東RC 会長 宮寄 富夫

さる4月14日(日)満開の桜のもと上越市デュオセレッソにて当クラブ50周年記念式典が開催されました。

当日は上越市長村山秀幸様をはじめご来賓各位と新保清久副ガバナー、歴代のパストガバナー、地区内ロータリアンに加え当クラブの海外姉妹クラブである台湾板橋東区RC、マレーシアよりバンダウタマRC、同じくマレーシアウタラスバンジャヤRC、国内友好クラブ館林東RCの皆様にもご臨席頂き国際色も豊かに300名を超える参加にて盛大に開催されました。

内容は当クラブの長期重点的運営方針である「国際奉仕」と「青少年奉仕」への奉仕活動の現況を皆様に見て頂きたいとの思いから4部の構成とし前段の1部、2部を【IM】、後段3部、4部を【50周年記念式典並びにIM懇親会並びに50周年記念祝賀会】とし委員会を幾度と無く重ね当日を迎えることになりました。

当日、第1部は第7分区宮下ガバナー補佐の主催者挨拶から始まり新保清久副ガバナーより祝辞を頂戴したのち「我がクラブの姉妹・友好クラブ」と題し当クラブ小坂靖至会員より台湾姉妹クラブ、国内友好クラブとの友好の歴史と現況についての講和がありました。海外姉妹クラブ締結当時のいきさつや永年に渡る友情関係の築き方、文化、習慣の違いなどの珍しい話に皆さん興味深く聞いていらっしゃいました。

第2部は海外姉妹・国内友好クラブ調印式です。宮下ガバナー補佐のそれぞれのクラブとの調印締結式を大勢の皆様の前で実施し今後の友好の証にしたいとの思いから締結書類の署名交換、記念品交換、記念撮影の時間となりました。国際色豊かな実に思いのこもった良い締結式になったのではないかと思います。

第3部は創立50周年記念式典となりました。まず冒頭に当クラブが永年に渡り青少年奉仕活動としてインターアクトクラブを提唱している上越高等学校ダンス部の皆様によるダンス発表があり高校生による切れ切れのダンスに会場は大いに盛り上がりました。

その後新保清久副ガバナーからのRI50周年認定書伝達式、ご挨拶を頂戴いたしました。伝達式は歴代会長を始め諸先輩からの50周年の重みを実感した瞬間でした。



続いて村山秀幸上越市長からの祝辞、海外姉妹クラブ台湾板橋東区 RC 林振哲会長、国内友好クラブ館林東 RC 岸信彦会長からの祝辞を頂戴し、当クラブ唯一のチャーターメンバーである横瀬会員からの 50 周年に際しての想いを聞いた後、周年を機に上越市社会福祉協議会様に記念品として「車椅子」を贈呈する旨の目録をお渡し致しました。基調講演は 2018～19 年 RI2610 地区ガバナーエレクト松本耕作さん（金沢 RC）による「ロータリークラブにおける海外交流」実体験に基づいた常に相手の立場に立った交流のノウハウなど興味深いお話に参加者も聞き入っている姿が印象的でした。



最後第 4 部はおまちかねの懇親会、祝賀会です。会場脇には上越市出身の日本画家川崎日香湮さんの屏風が飾られ海外からの皆さんも熱心に見ておられました。またこの日の為にテーブル上には「夜桜の敷き紙」その上には「お花見弁当風」の会席料理を揃えまさに花見気分を味わって頂けるように工夫いたしました。アトラクションでは地元で活躍する「ブラッセリー・ジャズ・オーケストラ」総勢 17 名による迫力満点の生演奏&ジャズで始まり途中で何とサプライズ発生？台湾ロータリアンを中心に飛入り参加にて生伴奏の「北国の春」の大合唱となり会場は一気にテンションマックスを迎え「手に手」の大合唱のあと祝賀会はフィナーレへと向かいました。

結びになりますがこのたびの IM50 周年記念式典にあたり事前準備に始まり当日の設営並びにご多忙のところご参加頂きました多くの皆様に紙面をお借りし心よりの感謝を申し上げまして報告といたします。みなさま本当にありがとうございました。



■大谷年度 クラブ会長エレクト研修セミナー（PETS）

PETS 実行委員長
秋山 澄雄（糸魚川RC）



国際ロータリー第 2560 地区では、第 1 分区から第 7 分区の輪番でガバナーを輩出することとなり、昨年、第 7 分区からガバナーエレクト大谷光夫氏（高田 RC 所属）が第 7 分区のロータリークラブ高田、直江津、新井、糸魚川、高田東、糸魚川中央、頸北、越後春日山の 8 クラブの推薦で誕生しました。

そして、所属 8 クラブが 4 大地区大会「PETS」「地区研修協議会」「地区ゴルフ大会」「地区大会」を分担して開催することとなり、糸魚川と糸魚川中央の 2 つのクラブが PETS の担当となりました。

思えば昨年の 2018 年 4 月 16 日に第 1 回 PETS 実行委員会を開催しましたが、糸魚川クラブが先に発足のため糸魚川クラブの私、秋山澄雄が PETS 実行委員長となり糸魚川中央クラブの安藤隆夫氏が PETS 実行副委員長となりまして、地区副幹事 PETS 担当の中田正氏の指導を賜り 3 人で発足しました。

その後、両クラブから PETS 実行委員として糸魚川クラブより佐藤元春氏、小野垣研一氏、糸魚川中央クラブより猪又行雄氏、麻績豊氏、両クラブ事務局 2 名の計 9 名で 2019 年 3 月 18 日までの約 1 年に渡り PETS 実行委員会 13 回を開催し進めて参りました。

糸魚川市の会場で第 2560 地区の PETS を実施したことが無かったのですが、第 7 分区ガバナー補佐エレクトの椿井琢光氏が会場を予約され、それを引き継ぐ形で進めて参りました。

参加人員が、第 2560 地区 56 クラブの会長・幹事エレクトの方々と地区役員や各大委員長など約 190 名の会議となりますため、日本海に面した糸魚川市の施設「ビーチホールまがたま」会場で PETS 開催となりました。

過去の PETS の実施状況を確認しますと、ホテルで開催しているため、会場設営はホテル側のスタッフで行っておられましたが、糸魚川市ではそのスペースが無いため 2 つのロータリークラブの会員 20 名以上の協力で 3 月 22 日（金）17 時より本会議場と分区セミナー会場設営を



「ビーチホールまがたま」で行いました。なお、設営後にリハーサルを司会者や地区幹事も行いまして、終了が21時過ぎとなってしまいました。

当日の3月23日(土)は、お天気にも恵まれて晴天の中でPETSが順調に進み終了となったときは、PETS実行委員9名全員が晴れやかな笑顔で、肩の荷が軽くなり満足感で一杯でした。

大変でしたが、参加した会長・幹事、ガバナー、諮問委員、ガバナースタッフなどの皆様方から「成功 おめでとうございます。」のお声をかけて頂きホッとして、その日のお酒が大変美味しく充実した一日となりました。

ご協力を賜りました皆様方に感謝とお礼を申し上げ終わりと致します。



■ロータリー財団地区奨学生選考面接会

奨学金・V T T委員会

委員長 五十嵐 英紀（新潟万代R C）

2019年4月6日、新潟市中央区の万代シルバーホテルに於いて2018-2019年度の地区奨学生選考面接が開催されました。今年度は奨学生募集に例年より力を傾けた結果、6名の方より応募がありました。当日は事情により1名の選考辞退者が出た為、5名の方が選考面接になりました。

次年度大谷ガバナー事務所より千田芳資第2分区ガバナー補佐と渡辺敏雄ロータリー財団委員会担当副幹事を迎え、地区ロータリー財団委員会のメンバー9名と外国語面接の講師3名で日本語面接と外国語面接をそれぞれ15分ずつ行われ、私自身は日本語面接に進行役として立ち会わせて頂きました。緊張の中にも志ある若者のひたむきな言葉に我が身を省みて、ロータリーの精神やロータリー財団の理念を再確認する良い機会となりました。外国語面接においては、語学力は勿論のこと表現力や社交性を審査いただきました。

いずれの受験生も甲乙付け難く、限られた予算のなかで出来る最良の選択を求めて選考会議が行われ、2019-2020年度地区派遣奨学生予定者3名が決定し、本人並びに推薦クラブにその旨通知をさせていただきました。

今年度は申請者6名すべて女性でしたので、次年度以降の男性の受験生の応募に期待したいと思います。選ばれなかった方も含め、彼女たちの未来が希望の光で満ちあふれ、この中から緒方貞子氏や中満泉氏のように世界で活躍する人材が出ることを大いに期待したいと思います。

【今後の地区奨学委員会の日程】

2019年5月18日 派遣奨学生オリエンテーション ホテルオークラ新潟

2019年7月以降 留学開始



■来日学生関西研修旅行

青少年交換委員会
委員長 三牧 好起（頸北RC）

3月21日～24日に当地区と第2840地区（群馬県）合同で、来日学生関西研修旅行を行いました。当地区から参加した4名の学生をご紹介します。

Rane Bieker	レイン バイカー	（アメリカ 5100）	新潟 RC
John Skendzel	ジョン スケンゼル	（アメリカ 5100）	高田 RC
Alina Birkenheuer	アリーナ ベルケンホイヤー	（ドイツ 1860）	新潟南 RC
Tobias Seidenberg	トービウス サイデンバーグ	（ドイツ 1810）	頸北 RC

視察先や体験は次の通りです。

- 京都 金閣寺
祇園
伏見稲荷大社
- 大阪 神峯山寺（護摩焚き）
ユニバーサルスタジオジャパン
道頓堀（たこ焼作り体験）





■米山カウンセラー研修会

奨学生選考委員会

委員長 宮嶋 正明 (新発田RC)

日頃は米山記念奨学事業にご理解とご協力を賜り、心より厚く御礼を申し上げます。

米山記念奨学委員会では3月30日(土)に2019学年度(2019年4月～2020年3月)の新規カウンセラー20名にご出席いただき、「米山カウンセラー研修会」を開催しました。

研修会では、(公財)ロータリー米山記念奨学会からの資料を用いて、お願いしたいことやご配慮いただきたい点などをご説明し、その後に、現役の奨学生である鄭 瓊花さん(新潟大学 白根 RC 中国)とカウンセラーの海津正男さん(白根 RC)、それに米山学友である王 阳さん(2015.4月～2017.3月新潟産業大 柏崎中央 RC 中国)とカウンセラーの鈴木公子さん(柏崎中央 RC)の2組の奨学生&カウンセラーから体験発表を頂きました。初めてカウンセラーを務めていただくロータリアンの皆さんに、カウンセラーとはどのような仕事をするのか、およその内容をご理解いただけたと考えております。



国内に数ある外国人留学生対象の奨学金の中で、米山記念奨学制度の最大の特徴は「世話クラブ」と「カウンセラー」が存在する“交流する奨学金制度”である点です。奨学生は世話クラブとのパイプ役であるカウンセラーを通して、多くのロータリアンと交流を深め、ロータリーの奉仕の心を学び、身に付けていくことが望まれています。

当地区の 2019 学年度は継続奨学生 9 名に新規奨学生 20 名を迎えて、29 名の奨学生でスタートします。カウンセラーをお務めいただく皆様が、良きカウンセラーとしてご活躍いただけるよう、そしてカウンセラーを楽しんで頂けるようにサポートをして参ります。

米山記念奨学委員会はカウンセラーや世話クラブの皆さまと共に、奨学生の育成進め、併せて寄付増進をお願いして参ります。これからも皆さまからの米山へのご理解とご協力を、どうぞよろしくお願いいたします。



■インターアクト海外研修

インターアクト委員会

委員長 水戸部 修一（新潟中央RC）

2019年3月28日から3月31日まで、今回で27回目となるインターアクト海外研修で台湾を訪問して参りました。第2560地区からは12名のインターアクターが参加し、群馬県側2840地区の18名と合わせ総勢30名の訪問団となりました。

歓迎式典が行われた清傳高級商業學校に到着すると、毎年恒例の「みなさん！こんにちは！ようこそ！いらっしやいました！」と生徒さんが歌うように連呼する中を進みます。気圧されるような熱烈歓迎は本当に嬉しいセレモニーです。

歓迎式典を終えた後、今年は三重高級中學のみなさんと共に千と千尋の神隠しのモデルと言われている九份を訪れ一緒に文化を学び、その後パートナーとなる台湾のインターアクターの家へ泊二日の日程でホームステイに向かいました。そこでは朝食から屋台で外食する、家族一緒に自宅の仏壇にお参りする、トイレに紙は流さない、日本のようなきれいなお風呂ではない（笑）など、一人ひとりが文化の違いを肌で感じる貴重な体験になったはずです。言葉が通じないところは携帯電話の翻訳ソフトを使いながらコミュニケーションを図るなどイマドキの奮闘をした話も聞かせてくれました。

ホームステイを終えた後は「さよならパーティ」です。その冒頭に感想を報告しあうことが慣例となっているのですが、一緒に壇上でお話して下さったお母さんの中にご自身もかつてインターアクターとして日本に訪問した経験をお持ちの方もおられ27年間という歴史を改めて認識する時間にもなりました。パーティ中に台湾のインターアクターが次々に繰り出すパフォーマンスは素晴らしいものですが、日本のインターアクターも一生懸命ダンスで応え、楽しい時間を過ごすことができました。



出発の朝「これからは北京語です。北京語、英語、母国語をマスターしたら世界中をほとんどカバーできます。台湾人は日本人に親しみを持っているから安全に北京語を学ぶには一番良いところ。ぜひこれからも交流を続けていきましょう。」と三重中央ロータリークラブのバスター会長からお見送りをいただきました。長年のご経験を踏まえてのお話で、お互いの文化を理解し将来の国際交流を担う人材を育てる事業としての意義を教えて頂いたように思います。

係ってくださる多くの方のご尽力でこの事業が成り立っていることに感謝申し上げ、インターアクト委員長としての参加報告とさせていただきます。





ロータリーショーケース 2560

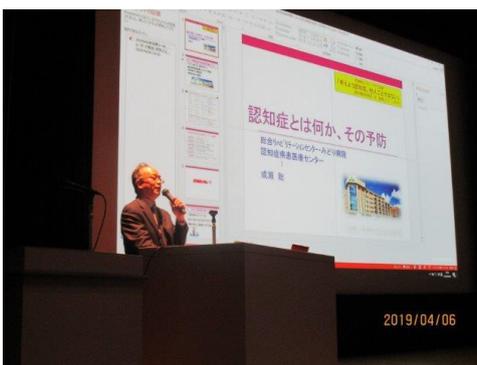
■認知症市民フォーラム

新潟東RC 会長 片山 政博

さる4月6日、信濃川沿いの新潟ユニゾンプラザに於いて、新潟東RC主催の認知症市民フォーラム「考えよう認知症、他人ごとではない」を盛大に行いました。当日は、共催の6クラブの皆様をはじめ、計220名の聴衆をお迎えしました。

フォーラムでは、関川博地区幹事が開会の挨拶をし、認知症対策は今年度の地区テーマであり、地区では認知症をテーマに様々な取り組みをしてきたことを述べました。第一部の講演では、講師にみどり病院院長の成瀬聡先生をお招きし、「認知症とは何か、その予防について」をテーマに50分間のご講演を頂きました。認知症の種類とその特徴について解説を頂いたうえ、医学的側面から認知症の予防法を教えてくださいました。第二部の講演では、新潟医療福祉大学医療技術学部診療放射線科教授の児玉直樹先生が「認知症予防、認知症と共生するまちづくり」について50分間のレクチャーを頂きました。認知症の正しい理解、認知症予防の取り組みやエビデンスなどを紹介しながら、人々が相互に信頼し、尊重し、助け合うための示唆を頂きました。第三部のパネルディスカッションでは、当クラブ会員の安達博君がコーディネーターを務め、両先生と共に、「認知症にやさしい社会とは」について、日本国内の先進事例を交えながら、外国の医療教育などをめぐって、有意義な議論を行いました。最後の質疑応答の時間に、聴衆から3つの質問がありまして、先生方が丁寧に答えてくださいました。

フォーラム終了後、124名の方がアンケートに回答してくださいました。60代以上の方が大きな割合を占めているなか、フォーラムの内容に対して、多くの方から「満足した」というお声を頂きました。



今回のフォーラムは、新潟市の後援を頂いたうえ、事前に講師の成瀬聡先生のBSN ラジオ出演（3月11日）、コーディネーターの安達博君（4月1日）のFMポート出演、新聞広告などの周知活動を徹底しました。また、当日、テレビ局と新聞社の記者さんが取材しに来られ、本市民フォーラムの様子は4月6日夕方のBSN放送の地方ニュース、そして、4月11日付新潟日報朝刊に取り上げられました。

当クラブは今回初めて「人道奉仕プロジェクト」を立ち上げ、このような市民フォーラムを主催しました。地区事務所をはじめ、新潟市内6クラブの皆様から多大なご理解とご支援を頂いたことに、感謝を申し上げます。また、クラブ内で実行委員会を立ち上げ、4奉仕委員会を中心に、会員一人ひとりの力を集結させた結果、完成度の高い市民フォーラムを仕上げる事ができたと思います。聴衆の皆様のご満足したお顔も、会員の皆さんの充実した顔も、「人道奉仕」の真の意味を教わったような気がします。最後に、本フォーラムご参加された皆様に心より感謝を申し上げます。ありがとうございました！



ロータリーショーケース 2560

■新しい世代へ継ぐために

越後春日山RC 会長 宮田 真

当クラブは会員45名（2018年7月現在）で、地区内では女性会員の数が一番多い10名と、例会はとても華やかで明るいクラブです。1995年に設立され今年で23年というまだ若いクラブですが、クラブ名称にある春日山は上杉謙信公の居城である春日山を用いて、謙信公の遺徳を偲び、有名な故事である「敵に塩を送る」という「義」を大切にするクラブです。そして「謙信出陣」を持ち歌に月1回全員で合唱し「者ども行くぞ～エイエイオー！」と元気よく勝鬨を上げて楽しい例会を運営しています。

当クラブの活動といたしましては、2005年から続いている「義の塩作り体験教室」があります。これは昔から行われている塩作りの伝統的な製法をそのまま再現し、谷浜観光協会が中心となって「義の塩」として製造しているもので、当クラブが全面的に協力して谷浜小学校の6年生を中心とする児童に総合学習としてこの塩作りを体験します。その後の例会に児童が参加して体験発表会を行っています。



もう一つの活動として、フィリピンのスラム街に住む貧しい子供たちに歯ブラシを届ける活動を行っている「フィリピン医療を支える会ハローアルソン」へ歯ブラシを贈呈するために、未使用の歯ブラシの収集する活動を行っています。2017年10月に当クラブの卓話にお越しいただいた羽尾歯科医院の羽尾医院長様の講話をお聞きし、羽尾医院長様が取り組まれているハローアルソンの活動に賛同して、当クラブの国際奉仕委員会が中心となり活動が始まりました。歯ブラシは会員が出張や旅行に出かけて宿泊した際、備え付けの歯ブラシを未使用のまま持ち帰り、例会の時に受付に設置した収集ボックスに入れる取り組みです。今年は248本を贈呈いたしました。

三つ目の活動といたしまして、2006年に上越市埋蔵文化財センターに山桜を植樹し、翌年からその手入れを1年に一回行っています。上越市埋蔵文化財センターは上杉謙信公の居城である春日山城跡の麓にあり、上越市を代表するこの地の環境を整備、維持することを目的に行っています。



5月地区の予定 【青少年奉仕月間】

(RIレート: \$1=¥112)

	地区主要行事	会場
10~11 (金~土)	インターアクト国際交流事業 (ホストクラブ: 新潟中央 RC)	県立新潟向陽高等学校 割烹の宿 湖畔
11 (土)	大谷年度 地区研修・協議会	デュオ・セレッソ他
18 (土)	十日町北 RC 創立 50 周年記念式典	レポート十日町
18 (土)	地区奨学生オリエンテーション	ホテルオークラ新潟
25~26 (土~日)	ローターアクト地区協議会	新潟市アグリパーク
25~26 (土~日)	第 24 回日本青少年交換研究会 金沢会議	石川県立音楽堂 ANAクラウンプラザホテル金沢

6月地区の予定 【ロータリー親睦活動】

	地区主要行事	会場
1~5 (土~水)	RI 国際大会	ドイツ・ハンブルグ
8 (土)	巻 RC 創立 30 周年記念式典	福寿温泉じょんのび館
15 (土)	青少年交換学生 長期受入学生お別れ会	ホテルオークラ新潟
16 (日)	ロータリー財団 学友会総会	ホテルイタリア軒
29 (土)	川瀬/新保年度慰労会	ホテルオークラ新潟

新入会員紹介

RC	氏名	入会日	会社名	役職
三条東	藤井 道明	2019. 1. 10	藤井税理士事務所	所長
水原	福井 典子	2019. 3. 20	筍福	代表
直江津	森本 直樹	2019. 3. 26	日本生命保険(相) 長岡支社直江津営業部	営業部長
新潟万代	石川 正彦	2019. 4. 1	(株)GARDEN四季	代表取締役会長
見附	青柳 拓磨	2019. 4. 1	岡三にいがた(株)	支店長
直江津	熊澤 稔雄	2019. 4. 1	(株)JERA 上越火力発電所	所長
柏崎中央	杉本 昌弘	2019. 4. 2	東電不動産(株)	支社長
柏崎中央	包 玉梅	2019. 4. 2	(株)トモトシ商会	経理
長岡	原山 みゆき	2019. 4. 2	損害保険ジャパン日本興亜(株)	長岡支店長
長岡東	池田 治	2019. 4. 3	有限会社 百笑会	代表取締役
三条	鈴木 久幸	2019. 4. 3	(株)近畿日本ツーリスト関東 燕三条営業所	次長
新発田	会田 恒夫	2019. 4. 8	(株)北越銀行新発田支店	支店長
新潟万代	大内 麻里	2019. 4. 8	(株)どら	代表取締役社長
長岡	久我 展功	2019. 4. 9	日本生命相互会社	長岡支社長
長岡	中野 まゆ	2019. 4. 9	うさぎやモータース	代表
中条	須貝 秀博	2019. 4. 10	須貝電気工事店	専務
柏崎東	藤岡 啓一郎	2019. 4. 15	日本生命保険相互会社 柏崎営業部	営業部長
柏崎東	棚橋 貴志	2019. 4. 15	岡三にいがた証券(株) 柏崎支店	支店長

訃報

RC	氏名	ご逝去日	会社名	役職
直江津	新田 實 2009-2010 年度クラブ会長	2019.3.16	上越産業(株)	取締役会長

心よりご冥福をお祈りいたします。



第2560地区 2018-19年度 3月末 会員数および出席報告

R C	例会数	出席率	会員数			
			2018年7月1日	3月末会員数	うち女性	増減
第1分区(9クラブ)	83.48	375	386	38	11	
新発田	4	93.58	95	92	0	-3
村上	3	84.10	37	37	9	0
水原	3	80.00	27	30	1	3
中条	4	85.53	36	38	3	2
新発田城南	3	73.97	43	49	4	6
豊栄	4	92.39	24	23	3	-1
新発田中央	4	74.62	49	52	5	3
中条胎内	4	82.90	37	38	7	1
村上岩船	4	84.26	27	27	6	0
第2分区(9クラブ)	77.02	437	440	21	3	
新潟	4	82.13	86	90	2	4
新潟東	4	81.58	57	54	6	-3
新潟南	4	77.53	104	103	3	-1
佐渡	4	88.90	7	7	0	0
新潟西	3	83.12	39	41	1	2
佐渡南	4	81.99	41	42	5	1
新潟北	4	48.13	40	41	0	1
新潟中央	4	71.88	25	24	0	-1
新潟万代	4	77.93	38	38	4	0
第3分区(6クラブ)	75.57	117	113	4	-4	
新津	4	72.50	18	20	0	2
村松	4	81.25	9	8	0	-1
五泉	3	72.73	13	11	1	-2
白根	3	80.20	37	34	1	-3
新津中央	4	73.34	30	30	1	0
阿賀野川ライン	3	73.40	10	10	1	0
第4分区(11クラブ)	73.88	367	376	26	9	
三条	4	82.63	56	58	0	2
燕	3	73.80	33	34	2	1
加茂	3	74.99	30	28	5	-2
三条南	3	85.12	48	48	3	0
分水	4	70.80	28	31	3	3
見附	3	70.00	20	20	1	0
吉田	4	81.00	28	31	4	3
三条北	4	71.55	64	58	2	-6
巻	4	72.40	20	25	0	5
田上あじさい	4	57.10	7	7	1	0
三条東	3	73.33	33	35	5	2

R C	例会数	出席率	会員数			
			2018年7月1日	3月末会員数	うち女性	増減
第5分区(7クラブ)	83.68	316	313	22	-3	
長岡	4	87.16	45	46	1	1
柏崎	4	81.25	43	43	0	0
長岡東	3	82.30	67	64	4	-3
柏崎東	3	83.67	48	47	4	-1
栃尾	4	83.95	22	23	0	1
長岡西	3	81.33	56	55	5	-1
柏崎中央	3	86.11	35	35	8	0
第6分区(6クラブ)	73.62	149	144	9	-5	
十日町	3	85.85	33	30	2	-3
小千谷	3	57.50	33	33	3	0
雪国魚沼	4	70.60	27	26	2	-1
十日町北	3	85.44	22	23	1	1
津南	4	67.31	27	26	1	-1
越後魚沼	4	75.00	7	6	0	-1
第7分区(8クラブ)	79.47	330	329	21	-1	
高田	4	99.53	65	62	0	-3
直江津	3	72.77	61	65	5	4
新井	4	76.52	30	33	2	3
糸魚川	3	80.48	41	41	3	0
高田東	4	75.00	37	36	2	-1
糸魚川中央	4	85.16	36	35	0	-1
頸北	5	76.70	15	15	1	0
越後春日山	3	69.60	45	42	8	-3

クラブ数	56	クラブ
7月1日 会員数	2,091	人
3月末 会員数	2,100	人
女性会員数	141	人
純増減会員数	9	人
当月平均出席率	78.11	%



■「ロータリーの未来のビジョン」

国際ロータリーは、戦略計画委員会がロータリアンを対象に3年に一度調査をしています。最終は2017年に実施されています。

2017年調査は戦略計画の策定と、ロータリーの将来に関するビジョンについてロータリアンにアンケート調査しました。今回はローターアクター、学友、ロータリーの職員にも広げました。総計28,000人を超える参加人数でした。

結果、＜強み＞①クラブ例会を通じて友情と親睦を深めている。②長期的なメンバーシップ(会員制)を強く望んでいる。③ロータリーを通じて地元地域ならびに世界をより良くする機会が与えられていると感じている。④関心を示している分野のほとんどは、ロータリーの重点分野及びポリオ撲滅活動によって網羅されている。＜課題＞①若年層と女性会員とローターアクター、学友は若年層と女性会員の割合が高まることを望んでいる。②情報の透明性と説明責任は最優先事項であるがこの分野で後れを取っている。③クラブが戦略計画を立案すればするほど、会員の満足度が高まり、ロータリーの将来に対する楽観的な見解が増える。④かなりの割合のロータリアンが、変化のペースに苛立ちを感じている。⑤多くのロータリアンが、所属クラブがより多くの社会奉仕と国際奉仕のプロジェクトに参加することを望んでいる。⑥プロジェクトや活動に十分参加しないクラブは、参加意欲の低下や会員減につながる恐れがある。

このような結果にて、ビジョン声明「私たちロータリアンは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています。」が出されました。

第2ゾーン ロータリーコーディネーター 田中 正規(西尾RC)

■「ストーリーテリングの重要性」

昨年3月に地域リーダー就任にあたってシカゴの研修で学び、今でも鮮明に覚えていることの一つに、「ロータリーをストーリーで語ろう」があった。ストーリーで語ることで相手に理解されやすく、影響を与えられると言う。因みにインターネットで「ストーリーテリング」を検索すると様々な有益な情報が得られた。少し長い引用する。「ストーリーテリングとは伝えたい思いやコンセプトを、それを想起させる印象的な体験談やエピソードなどの物語を引用することによって、聞き手に強く印象付ける手法のことです。抽象的な単語や情報を羅列するよりも、相手の記憶に残りやすく、得られる理解や共感が深いことから、企業のリーダーが理念の浸透を図ったり、組織改革の求心力を高めたりする目的で活用するケースが増えている」とあった。ビジネスの世界で「自分の考えや思いを伝える」ことが大切であり、会社の経営理念や商品の説明、またブランディングにおいてもストーリーで語ることは効果的とされる。

この時代、消費者の目は肥えてきて差別化が難しくなっており、数字や表だけの説明だけではなかなか共感が得られなくなっているようだ。先ごろ科学者の学会発表においてもストーリー仕立てにすることの必要性を説く「なぜ科学はストーリーを必要としているのか」という大部な本(ランディ・オルソン著、慶應義塾大学出版会)に出会った。副題に「ハリウッドに学んだ伝える技術」とあった。著者は言う「物語は、信じられないくらい強力だ。ビジネスの現場でのツールとしてだけではなく、世界を理解する上でも、その力は計り知れない」と。

ストーリーテリングの特徴は、語り手が自分の言葉に直して語ることに特徴がある。同じ物語でも語り手によって味わいを持たせることができる。

ロータリーを外に向かって語る時4つのボイスを活用することが推奨されている。「賢明さ」「思いやり」「粘り強さ」「行動を促す力」の4つである。先日、自クラブの「オープン・ロータリー」で外部の人たち(入会推薦者含む)を招き、このボイスを使ってロータリーと自クラブの歴史を語る機会があった。25分位の短い時間ではあったが私のスピーチとしてはこのボイスのお陰で珍しくまとまった話ができたと感じる。経験豊かなリーダーの世界的ネットワーク、6つの重点分野、青少年交換、インターアクト、ローターアクト、米山記念奨学会、ポリオ撲滅などのロータリーの活動をボイスの視点で整理しながら情熱をもって語ったつもりだ。

ガバナー、ガバナー補佐、地区委員長はロータリー(2つの標語・ロータリーの目的・4つのテスト・戦略計画・中核的価値観・ポリオ撲滅など)を語る機会が多い。その際にボイスを活用しストーリーで語ることを強く推奨する次第である。

第2ゾーン ロータリー公共イメージコーディネーター 柳生 好春(野々市RC)



【訃報】 名誉理事長 板橋敏雄氏 逝去



当会名誉理事長（前理事長）の板橋敏雄氏が、3月23日にご逝去されました。享年89（満88歳）でした。

板橋氏は1962年に足利東ロータリークラブに入会され、1987-88年度第255地区（栃木・茨城）ガバナー、

1995・96年度国際ロータリー研修リーダー、2001-03年度国際ロータリー理事など、ロータリーにおいて要職を歴任されました。

当会においては、2003-07年度監事、また、2007年8月からは7年間にわたり第5代理事長

をお務めいただきました。ご自身の長いロータリー歴の中でも「米山記念奨学会の理事長という職責ほど、大きなやりがいを感じたものはない」と語り、あらゆる場で当事業の“感動”を伝え、国内外、特に海外学友会には可能な限り足を運ばれました。理事長在任中には中国・タイ・ネパール・モンゴルのほか、国内を含めると9つもの学友会が誕生し、当事業の発展のために多大なご尽力をいただきました。

4月23日には足利市民会館において、社葬として葬儀・告別式が行われるとのことです。

ここに謹んで哀悼の意を表し、氏のご冥福をお祈り申し上げます。

2019 学年度新規奨学生オリエンテーション開始

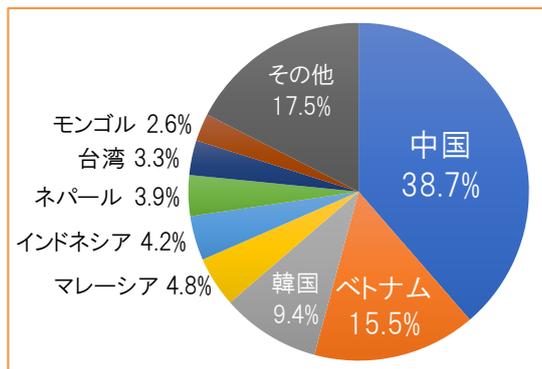
2019学年度の奨学生は昨年度より17人増の871人となりました。新規採用者641人、継続者230人です（4月10日現在）。国・地域別にみると、中国38.7%、ベトナム

15.5%、韓国9.4%、マレーシア4.8%、インドネシア4.2%の順です。プログラム別では、学部・修士・博士課程奨学金が812人

（学部：321人、修士：268人、博士：223人）、地区奨励奨学金17人、クラブ支援奨学金9人、海外学友会推

薦奨学金4人、今年度から正規プログラムとなった海外応募者対象奨学金は29人となっています。3月30日を皮切りに、今月下旬まで、

各地区でオリエンテーションが開催されます。オリエンテーションは、奨学生とカウンセラーが出会い、奨学生としての義務やロータリーについて理解してもらう場です。確約書に署名をした後、正式に米山奨学生となります。どうぞ温かくお迎えください。



寄付金速報 — 2018-19年度も残り3カ月 —

3月までの寄付金は、前年同期と比べて0.6%減（普通寄付金:0.07%減、特別寄付金:0.9%減）、約730万円の減少となりました。普通寄付金、特別寄付金ともに前年同期比から減少しているものの、過去5年間の平均寄

付額からは上回っており、堅調を維持しています。今年度も残り3カ月を切りました。今後は特別寄付金が主な寄付金収入となります。引き続きご協力賜りますようお願い申し上げます。

ミャンマー学友会総会報告 — 新体制が始動 —

ミャンマー米山学友会総会が3月3日、ヤンゴン市内のホテルで開催され、学友とゲストを合わせて15人が出席しました。総会では、来賓として出席した武田和夫常務理事、滝澤功治常務理事からの祝辞に続いて、ミャンマー元日本留学生協会（MAJ A）のミョー・キン会長から「ミャンマー米山学友会は、MAJ Aの一員としても大変活躍している」との賛辞が送られました。

昨年度の活動報告として、経済的困難にある中学校や寺子屋での教育支援、日本語学校で学ぶ15人の優秀な学生への「田中作次奨学金」の支給、ミャンマーを訪問した東京東江戸川RC（第2580地区）、池田くれはRC（第2660地区）、大宮シティRC（第2770地区）との交流などについて報告され、さらに、学友3人が新会員として加わったという嬉しいニュースもありました。



今回の総会で役員改選が行われ、初代会長を務めたタンシンナインさんに代わり、第2代会長としてケイカイン ウィントウラさん（2010-11/京都西RC）、副会長にソータイさん（2012-13/いわき平RC）、ほか5人の理事が選任されました。この4月から新役員での体制がスタートします。新会長のケイカインさんは、「情報交換を良くし、皆で力を合わせて、学友誰もが参加しやすい、温かい学友会を目指します」と、抱負を語っています。

絆 in モンゴルに参加しよう！ — 登録は4/30迄 —

前号でお知らせしたとおり、2年に1度、学友会が協同で開催する米山ファミリーの集いが7月27日（土）～28日（日）の2日間にわたり今回はウランバートルで開催されます。

3月中旬の登録開始から大きな反響をいただき、4月10日時点で、日本から160人を超えるロータリアン、学友が登録しています。また、台湾学友会から40人超、ベトナムや中国など海外在住の学友も続々と参加予定です。

迎えるモンゴル学友会では、70人体制で、心を込めた“おもてなし”の準備にあたっています。7月はモンゴル観光のベストシーズンであり、航空券も通常10万円以上しますが、同学友会では、国営のMIAT航空と直接交渉し、「絆 in モンゴル」参加者のために特別価格の座席を多数確保。希望者にはおすすめの5つのホテルを予約代行してくれます。

懇親会だけでなく、2日目にはモンゴル伝統の遊牧祭というお楽しみも。「モンゴルに一度は行ってみたい」とお考えの方、モンゴルの学

友はじめ、世界各地からの学友と交流したい方には、またとないチャンスです。多くの皆様のご参加をお待ちしています！

登録締切は4月30日です。特に、特別価格の航空券、ホテルの予約代行をご希望の方は必ず4月30日までに登録ください。まずは登録（ホテル予約代行希望者は登録時に申込み可）、その後、航空券の手配を各自で行います。

第1回「感謝 in 熊本」からバトンを受け、2年をかけて準備してまいりました。モンゴル学友会一丸となって、皆様を歓迎する準備を整えています。多くの皆様と7月、モンゴルでお会いできることを楽しみにしています！



「絆 in モンゴル」実行委員長
ジャンプ・ガルバドラハ

申込書など詳細は右 QR コードを読み取るか、当会 HP のトップページ>News & Topics
[!] 重要なお知らせ をご覧ください



文庫通信 [376]

ロータリー文庫通信376号 2019年4月 新会員のためのロータリーの歴史文献

2019年規定審議会では多くの重要法案が採決され、否が応でもこれからのロータリークラブ／国際ロータリーの管理・運営に影響を及ぼします。これからのロータリーを考える上で、ロータリーの歴史を知ることはその第一歩です。特に、新しく入会された会員のために文献を選びました。初期の頃と今とでは、ロータリーの本質の捉え方も異なってきております。歴史的記述には間違いや相反するものも含まれています。冷徹な批判的な眼をもって、過去を正しく分析し、未来のロータリーを考えてください。

書名	著者 / 出版社	発行年	頁	
ロータリーの歴史年表(2018年12月改訂版)	諏訪昭登 -	2018	10P	※
奉仕の一世紀 国際ロータリー物語	デイビッド C.フォワード著; 菅野多利雄日本語訳監修 R. I.	2003	331P	※
ロータリー日本五十年史	- ロータリー日本50年史編集委員会	1971	430P	※
ロータリー進化論	前原勝樹 -	〔1985〕	19P	※
ロータリー歴史探訪	田中毅 -	2004	131P	※
新会員のためのロータリーの歴史	佐藤信 -	1987	48P	※

・上記 ※印はデジタル化されている資料です。――

*資料の検索は文庫ホームページから <http://www.rotary-bunko.gr.jp>

ロータリー文庫通信



ロータリー文庫の資料から、毎月資料を厳選して発信しています。
[詳細はこちらへ](#)

ロータリー文庫検索



2万点余りある資料を検索出来ます。PDFのみの検索もできます。
[詳細はこちらへ](#)

ロータリー文庫について



[文庫について](#)
[HP利用方法](#)
[運営委員会から](#)

トップページには三つの窓があります。上記矢印「HP利用方法」をクリックしていただきますと、「ホームページの利用方法」というPDFが表示されます。

ここには1999年2月ホームページ開設以来、データベース化された全ての資料の検索方法が書かれています。

尚、過去の文庫通信一覧については、左窓の「詳細はこちらへ」をクリックしてください。